

株式会社 y+M design office

三宅 正浩

【作品名】

ビレッジプライド - ゲストルーム

設計 株式会社 y+M design office

施工 有限会社 坂根住宅

竣工日 2022年2月28日

建物概要

建設地	島根県邑智郡	延床面積	37.79㎡
敷地面積	415.44㎡	構造・規模	木造2階建

設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	ガス給湯機
冷暖房機器	エアコン



before

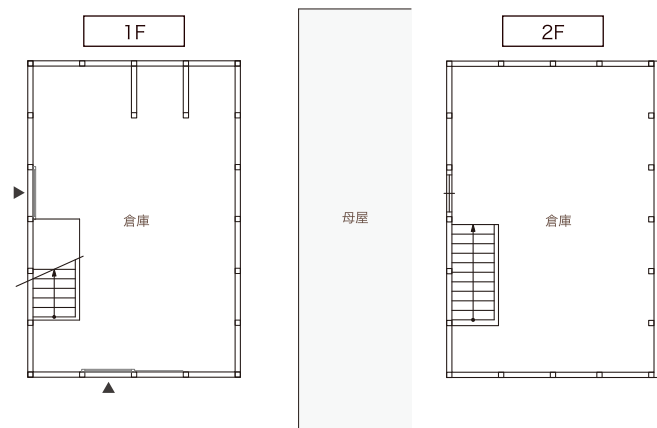


after

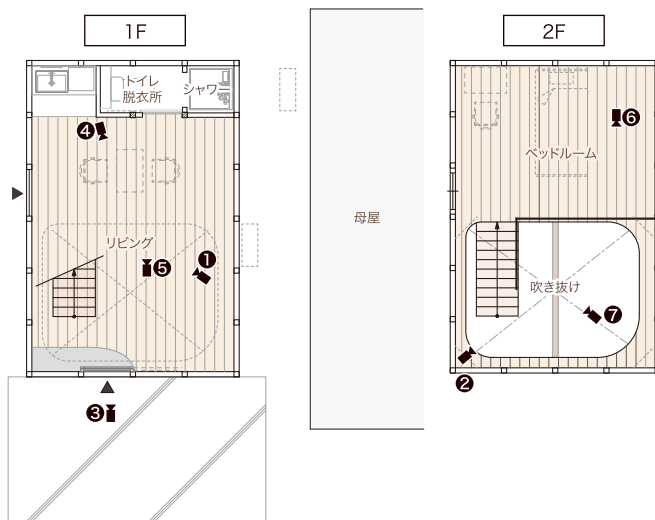


平面図

リフォーム前



リフォーム後



設計コンセプト

棚田や山林が広がる自然豊かな島根県邑智郡邑南町の於保知盆地に位置する。周辺は住宅が少なく、以前に比べると住人も減り、空き家が目立つようになってきている。そこで、使われていなかった築約80年の土蔵を、最小限の水廻り設備を持つゲストルームにリノベーションした。

細工が施された和錠を持つ昔ながらの小さな土蔵は、天井が低く圧迫感があったため、2階の床の半分近くを円形状にくり抜き、上下につながる開放的な空間とした。構造的には吹き抜けの四隅に火打材と構造用合板による補強を行い、水平剛性を高めている。また蔵の土壁が持つ断熱性、調湿性、風合いを生かして、新たな断熱材は必要箇所のみとし、内壁を真壁状にラウンベニアとシナベニアで包み、床材にあたたかみのある地産材の杉フローリング（無垢）を

採用した。

1階のリビングと2階のベッドルームが円形に穿たれた吹き抜けを介してつながることで、程よい距離感のワンルーム空間となり、大きな床梁や天井の海老虹梁などから、この地域に多く残る土蔵としての力強さが感じられ、地産材である無垢の杉フローリングが心地よい、特別感のあるゲストルームとなった。

限られた予算の中、地域に眠っている既存建物に昔ながらの良さを残しながら最低限の手を加え、これからも使い続けられるように甦らせる町医者的な試みは、地方に必要なサステナブルな取り組みの一つだと考える。

審査委員講評

古くからある使われていない蔵を最小限の手数でゲストルームに転用する好例であると感じました。外観は以前とは変わらない姿で佇みながらも、内部空間では一転柔らかな曲線によって上下階を繋ぎつつ構造的な剛性も担保しています。時代の変化に合わせながら大げさではない設計手法によって古くからある町並みに持続性を与えられる提案です。



- 1 2 3 天井が低かったため2階の床の半分近くを円形状にくり抜き、上下につながる開放的な空間とした。吹き抜けの四隅には補強を行い水平剛性を高めた。1階のリビングと2階のベッドルームが吹き抜けを介してつながるワンルーム空間となり、大きな床梁や海老虹梁から蔵としての力強さが感じられる特別なゲストルームになった。
- 4 断熱材を水廻りなど必要箇所のみにとどめ、蔵の持つ土壁の風合いを残しつつ、床は杉の無垢フローリングとした。
- 5 ミニマな空間に明るく天井が高いリビングと、低めの天井の落ち着いた雰囲気のあるベッドルームという相反する2つの部屋が関係しあう。



- 6 窓が小さく壁が分厚いため断熱性が高い蔵の特性を残しつつ、吹き抜けで1階と2階をつなぐワンルーム空間とした。
- 7 蔵は元来食料保存に適した建物で外気温に左右されにくい造りとなっている。そのままでは暗く、天井も低いために圧迫感があるが、吹き抜けと構造補強というマイナス面をカバーする工夫をすることで快適な空間となる。